

2018年2月13日

北九州市との『環境・SDGsに関する連携協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、北九州市が目指す「世界の環境首都」の実現に貢献するため、北九州市（市長：北橋 健治）と『環境・SDGsに関する連携協定』を本日締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・北九州市は、環境未来都市や「ジャパンSDGsアワード」特別賞受賞など、自治体のトップランナーとして環境・SDGsに関する取組みを推進しています。
- ・損保ジャパン日本興亜は、洋上風力発電に関するリスクマネジメントや保険引受のノウハウ、再生可能エネルギーや気候変動に関する知見、海外進出に伴うリスク評価など保険会社としての強みを活かし、市民や市全体の環境・SDGsの浸透、推進に貢献するため、このたび北九州市との協定に至ったものです。

2. 協定の目的

北九州市と損害保険ジャパン日本興亜は互いに緊密な連携と協力をすることにより、環境・SDGsに関する市民の活動を推進するとともに、市内企業のビジネス展開にもつなげ、北九州市、日本およびアジア地域の持続可能な社会づくりに貢献することを目的とします。

3. 協定の主な内容

損保ジャパン日本興亜の強みや特徴が活かせる分野において連携を行い、以下のような業務・活動で連携します。

- (1) 再生可能エネルギー等の導入拡大に関する事項
- (2) 気候変動に伴う適応策の推進に関する事項
- (3) 環境国際協力の推進に関する事項
- (4) 環境教育や環境リスクに係るコミュニケーションに関する事項
- (5) SDGsの普及啓発や実践に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、双方が別途合意する事項

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、保険会社がつさまざまなノウハウを活かし、市民・企業への環境活動、SDGsの浸透、北九州市が目指す「世界の環境首都」の実現に貢献していきます。

以上